何と戦かんとするのか、と云った声明書を発表した。
この党の態度は同時に全農宮城県聯の態度に見られるであらう。それは全農宮城が提唱して東北地方協議会を召集したが、宮城の召集が越権とされ、日時を更めて開くことになったことは前述の通りである。

右翼合同を粉砕しろ！大阪府聯も立つ

青年大阪府聯は次の如く合同反対を声明し、青年部をして集会を持たしめ、反対運動の大衆化を即時開始した。

恐慌と兇作に打ちのめされつゝも苦難なる闘争を展開しつゝある農民にとって今一番求めているのは闘争力の強化であり、組織の拡大だ。
ところが当面の合同はこの農民の要求をふみにじるものだ。何故なら松岡一派のファッショや海員組合の社会ファッショとの合同は当然分裂の再生産となり組織の破壊と闘争力の減退を再来せしめるものだからだ。農民大衆はもう合同分裂の長い連鎖劇にこりこりしているのだ。そして四畳半合同を企む奴は幹か反動策謀家と定めてある。
今時、合同合同と騒ぎ廻ることこそ見透しの欠如をバクロするものだ。合同取引に走りつゝある努力を日常闘争の展開に向けたらどうか

★党は我等の先頭に立って勇敢行動し指導せよ！
★戦斗力強化のための下からの大衆的な戦線統一！

合同反対は反ファッショ斗争？ 再建佐賀県聯の声明

活溌な青年によって前進又前進の再建佐賀県聯は大衆党唐津支部と共に十八日合同反対の檄を発した。それを要約すると(一)当面の幹部取引による合同は右翼結成への屈服的合同である(二)屈服的合同の目的は戦斗的分子の排除にある(三)社民党は大部分がファッショ社会ファッショで占められてある。この社民との合同を撃破することは当面の具体的な反ファッショ斗争である(四)党は政治的日常斗争を通じて下からの戦線統一をやれ！

京都 社民との合同絶対反対だ！